エセナフォーラム2013

女性トップリーダーから学ぶ 成功セオリーと仕事術

エセナフォーラムは男女共同参画社会実現のために男女共同参画週間（6月23日～29日）とほぼ同時期に行なうエセナおおたの重点事業のひとつです。今年は7月6日（土）～7日（日）にかけて行ないました。初日は大田区を代表する二人の女性リーダーにお越しいただき、自己紹介後に女性が働き続けるヒントやワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）などについて対談をしていただきました。

自己紹介

株式会社ウイル代表取締役
奥山 睦さん

1990年現会社を設立。地元大田区の中小製造業との交流から、『「折れない」中小企業の作り方』等著書多数。元祖女性起業家と呼ばれている。

美大を卒業し編集会社等を経て映像製作の会社員として働いていました。仕事は楽しかったのですが、激務で休日もない状態が続き、突発性難聴になるという経験をしました。その時起業することを選択しました。それが1990年です。翌年結婚、その翌年に出産し、3年間で女性の人生の転機をわたり歩きました。

時はバブル崩壊後のため社会経済状態が非常に悪く、資金繰りが困難になり、都市銀行に融資を頼みに行っても追い返されることもありました。藁にもすがる思いで大田区の小規模事業主向けの説明会に参加すると、いろいろなアドバイスをいただき、2週間ぐらいで融資がおりたのです。小規模企業が多い大田区にいて良かったという原点は、その経験からです。

当時時間があったため、将来のためにインターネット活用等に資金をつぎ込みました。子育てのためには自分が移動するのではなくデータを移動させて残った仕事を自宅でやりたいと思ったからです。インターネットは仕事と家庭の両立のために私にとって必然でした。

人生を自分らしく生きるために仕事も趣味も地域活動も家庭も学習研究も自分らしく実現していくことがいきいきと働き続けるコツだと思います。

ダイヤ精機株式会社取締役社長
諏訪 貴子さん

1971年大田区生まれ。2004年に現会社を先代から引き継いで10年が経過。さまざまな改革を実行し、「勇気ある経営大賞優秀賞」受賞や日経ウーマン「ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2013大賞」を受賞。ちまたでは「町工場の星」と呼ばれている。

専業主婦を経てダイヤ精機に入社しました。先代の社長である父から2回リストラを言い渡されたのち、2004年に先代が急逝し、3度目の正直で入社し、いきなり社長に就任しました。就任後3年間の改革を実行し、時には社員と本音でぶつかり言い合いになることもありましたが社員の誰一人として辞めることなくついてきてくれました。何か問題が起きたら社員みんなが集まって知恵を出し合い問題解決をしていくようなコミュニケーションを軸とした町工場をめざしています。

社長に就任した当初、さまざまな経営者等の会議に出席しても「女性だから」ということで避けられたり、意地悪をされたりすることもありましたが、会議を重ねるうちに本音で話ができるようになり信頼もされるようになりました。これからも大田区の技術を守るために尽力したいと思っています。

2012年日経ビジネスで「落第娘、町工場の星になる」と書かれ自分が「落第娘」だと初めて気がつきました（笑）

大学の工学部を卒業後、2年間大手企業にエンジニアとして働き、結婚後